

団体名：新宿こども食堂たんすまち

活動地域：新宿区

助成額：49,763 円

ホームページ: <https://www.shiniuku-kodomoshokudo.com/>

【当初の目的に対しての結果】

3月の卒入学シーズンは教育費や学用品代がかさみ、春休みに入ると昼食が必要なため食支援ニーズが高まる。そのタイミングに合わせて、食支援強化の仕送り便の発送を行うことができた。昨今はお米の価格高騰もそうだが、これまで米の購入をお願いしてきた地元のお米屋さんに米の入荷が少なく、必要な量が買えないことが続いていたので、助成のおかげで全世帯に米を配布することができ、利用者にとっても喜ばれた。「何はなくとも米はある」ということが、利用者の安心に繋がっていることを実感したので、例年以上に成果があった活動だった。

【組合員へのメッセージ】

貴重なご寄付をいただき、心より感謝申し上げます。利用会員さんたちが長年に渡りいい関係を築いてきた生産者さんからの美味しいお米と果物を、35 世帯の方々にお渡しさせていただきました。



【活動紹介とご寄付のお願い】

こんにちは、新信こども食堂たんずまちです。
2016年から新宿区でこども食堂の活動を始めたボランティア団体です。コロナ禍では会食をお弁当に切り替えてこども食堂を継続しています。生鮮食品などを取りにきていただくパントリーや、お米や調味料などの重宝のある食品を宅配便で届けるも食堂でも行っています。
活動開始から7年が経ち、高校生になった利用家庭のこどもたちが運営に参加しています。私たちの活動を資金面から支えていただきたく、ご検討くださいますようお願い申し上げます。

【团体概要】

発達期の栄養不足と不適切な食習慣、社会からの孤立が子どもの将来に及ぼす影響を改善したいと、子育て中のママ友と保健医療・福祉専門職を集め、2016年3月に設立した任意団体。ボランティアは42名在籍。

現在、ひとり親28世帯、住民税非課税3世帯、ミャンマー難民母子1世帯の32世帯を食で支援しています。ぜひとも私たちの活動をご支援ください。

【コロナ禍による変化】

会費を中止してのお弁当のお返しに切り替えたところ、利用家庭の状況やニーズの聞き取りがしやすいとなりました。

利用家庭は、食身が劣化せず、正確な視覚が多めに口の中が暗く見えたりした家庭が多く、公的な栄養支援が提供されている中で食事・補正機能として育食器が導入されました。

一方、中高生の利用家庭の増加が進みました。中高生は親と一緒に食事することの心身のハードルがあったものの、お弁当の受け渡しと思春期を迎える中高生と親との関係性で増えました。

中高生は、食卓盛りの上では、受渡や就寝、資格取得など、将来を大きく決定する選択が押し寄せます。彼らにとってのように寄り添うことが、新たな課題となりました。

【現状の活動と課題点】

①1月10日のお弁当配布、②1月10日の食料品お渡し、③年4回の長期休みの食品宅配、の3つをメインに活動しています。

活動の中心に合せて、ランドセル、学用品、本、辞書、日用品、衛生用品、クリスマスプレゼントなどの寄付品を配布を行っています。いづれもエフ・エフ・エフが活動、経理、企画、広報、広報、他団体のイベント共同実施担などを行っています。

このコロナ禍は献金額を減らす方が、物価高が正視範囲の従業員が好転しにくい、利用者は毎月2世帯のペースで増え続けています。お弁当の発注数や、購入品の数も増え、活動費が増えています。



【①お弁当配布事業の継続】

アレルギーに配慮して、生の魚や肉から調理した手作りのお弁当を35世帯100名に、月1回、年間12回お渡しできます。地域の飲食店から購入します。

年間の活動予算は1,105,800円で、新宿区のこども未来基金から最大額の25万円を獲得しても、差額の855,800円の自己資金が必要です。

お当り配当 予想書		
組織対価となる資産		
項目	予想価	算算価額(内訳)
現金・現金当	720,000 弁償仕入600円×1000×12回	720,000 弁償仕入600円×1000×12回
消耗品・材料費	12,000 弁償仕入200円×600×12回	600 消耗品仕入200円×600×12回
物販費	12,000 発生仕入200円×600×12回	600 発生仕入200円×600×12回 5000 食料等内買入費用(月給、減価、労務費) 10,000 消耗品仕入 10円×1000×12回
印刷費	12,000 5月10日5000枚×200円、食費4円×2000回	1000 発生仕入5000枚×200円 1000 食費4円×2000回
人件費	80,000 初年度直営店直営店員1名月給4万円×4名×12回	2500 初年度直営店直営店員1名月給4万円×4名×12回
賃料	2500 初年度直営店直営店員1名月給4万円×4名×12回	8000 ポイントカード発行費用1000円×20人
経費・交通費	24,500 備品・消耗品仕入4万円×2回 200円×12回	2000 初年度1名直営店直営店員1名月給4万円×2回
その他経費	20,000 7月エプソンカードシステム 1000円×20回	18,000 エプソンカードシステム 1000円×20回
組織対価支出合計(A)	1,029,000	
組織対価とならない負債		
項目	予想価	算算価額(内訳)
元金負債	500,000 元金 借入金・リースカード 元金500,000円×2	500,000 元金 借入金・リースカード 元金500,000円×2
減価償却	2500 減価償却の予想値、資料取得費	
減価償却	2500 減価償却の予想値、資料取得費	
印刷費	2500 発生仕入200円×600×12回	
総経費	5,200 発生仕入200円×600×12回	
組織対価支出合計(B)	78,300	
突出金額(C)	1,150,800 A+B	
組織債にたいする負債の動向表		
組織債にたいする負債の動向表	500,000 借入金1月1日仕入と返済が予定され、経理的に行なわれる-500,000	
組織債にたいする負債の動向表	500,000 Aの1月1日仕入と返済が予定され、経理的に行なわれる-500,000	
組織債にたいする負債の動向表	1/2 1回目(1月1日)-10、2回目(2月)-5、3回目(3月)-10	
組織債にたいする負債の動向表	500,000 Cの1月1日仕入と返済が予定され、経理的に行なわれる-500,000	
組織対価となる自己資産		
組織対価となる自己資産	800,000 組織対価となる自己資産	

【②パントリー事業の充実】

月1回、寄付金をメインに食品を配布するパントリー事業を行っています。現在、お米やレトルトなど中間支援団体から寄贈された食品や、amazonほしちのリストから個人の寄付者にご購入いただいた食品をお渡ししています。寄付品は数が揃わないことが多く、毎月不足数を自己資金で買い揃えています。また、果物や野菜など、季節感のある食品を購入しています。

上記の2活動を、利用者増に対応しつつ継続するために、ご寄付の検討をお願いいたします。